好都市キ

ーテ

·市訪

|月に友好|

つ

あ マ

「有馬の

3

크 高 I

父の

か

スで3時間 ?都市とな

 \mathcal{O}

を 創 か 間 か 市











6.7.8.9ホストファミリーと(ホストファミリーと過ごした濃密な4日間であったた め、涙ながらに抱き合い別れを惜しむ)

G B 小•中併設)訪問 ここは、 キエ CO高校 テ

交流につ ともあり、 訪問当日は、 また、 ファミリ 校長先生ともお会い 中学生の ライズ誕生会をし の学生たちが通う学校です。 ィを代表する高校で、 一人が誕生日というこ 7 ただき

ながら、

それぞれの家庭で過ごしまし

ージを駆使

して Þ

コミュニケ

3

ンをとり

ラン

言の

英語 ムステ

タ

日

のホ

:験し

生徒たち

木

|

フ

ァ

Ξ

IJ

の

交流

中学生4

人は、

キエー

テ

市内の

ホスト 3 泊 4

ミリ

にそ

れぞれ を体

お世話になり、

抱き合って別れ

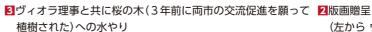
を惜し

ホス

学生を南島原市 11 7 の意見交換を行 へ派遣す るとの お話 今年 今後の学校 ŧ 4 月に

1表敬訪問(キエーティ市役所市長室にて)







品の

開発

元を行

お

特にワ との

ンの

を

も進

現在観光スポ

の意向

今後の

交流につ

B身地です

所を表敬

を行

ま

した。

(左から ヴィオラ理事・プリーミオ市長・永田教育長(団長))

※派遣された中学生の感想文から一部を抜粋して紹介します。 -

中島 幸咲奈さん (加津佐中学校 3年)

私にとって最も大切な想い出になった ホストファミリー(スワミ)との出逢い。 イタリアに来たばかりの私が、少しで も過ごしやすいようにと、とても親切に して下さりました。次第に緊張もとけて

いき、イタリアの生活に溶け込んでいく ことができました。 学んでいたイタリア 語だけでは通じない場面が沢山ありまし たが、お互いに片言の英語でつなぎ、身 振り手振りや表情で精一杯表現して、やっ と通じ合った時には、お互い飛び跳ねた り、ハグしたりして喜び合いました。そ して、最終日には、荷造りを終え、玄関 からドアの外へ出ようとした時に、三日 間の想い出があふれだし、別れの時が近 づいている事を実感し涙が出てきました。

スワミはお別れの前に、「My home is your home, your home is my home] と言ってくれました。このように、たとえたくさん語り合おうと思います。

言葉が通じなくても、お互いを知りたいと 思う心が、私とスワミを繋げたのだと思い ます。もし、これがインターネット上や、通 訳があって直ぐに言葉が伝わる状況だっ たとしたら、ここまで仲良くなれなかった 気がします。お互い目を見て、一生懸命解 り合おうとしたからこそ、得る事ができた 仲だと私は確信しています。今回のホーム ステイで、表情でのコミュニケーションの 大切さや素晴しさを強く実感しました。イ タリアは、飛行機でなら一日で行けるし、 思っていたより近く感じました。いつか、 スワミに会いに、またイタリアを訪れて、

笹田 深雪さん (口之津中学校 3年)

10月19日から29日までの11日間の派 遣事業は、私にとって貴重な経験となり ました。今回初めての海外だったことも あり、出発前から不安があったけどワク ワクの方が大きく、とても楽しみでした。

イタリアに着いてまず驚いたことは、す べての建物が大きくて、まるでタイムス リップしたような街並みだったことです。 その他に衝撃的だったのは、朝食がスイー ツてんこ盛りだったこと。靴を脱がず家に 上がることなど日本とイタリアの習慣や文 化の違いが自分自身を興味・関心に沸き立 たせてくれました。そして、歴史ある場所 を訪れいろんな話を聞くことができまし た。イタリア語や英語を使ってコミュニ ケーションをとることは難しかったけど、 違う国の人と話すのは楽しいし日本のこと を伝えることができたときの嬉しさは忘れ られません。人と関わることの楽しさ大切

さを改めて感じました。

【平成遣欧少年使節派遣を終えて】

私の将来の夢は、看護師になることな のでこの経験を生かし、もっともっと交 流の幅を広げて勉強していきたいです。 平成遣欧少年使節の四人の一人として、 イタリアに行けたことは、すごく誇りに 思います。「楽しかった」では終わらせ ずに、これからも国際的な活動に積極的 に参加して、また、イタリアに行く機会 があればもっと深く歴史を知りたいと思 います。この経験ができたことに感謝し て、学んだことを一生の思い出として記 憶にしっかり残したいと思います。本当 にありがとうございました。

広報 南島原 2018.2 **06** 07 広報 南島原 2018.2